

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和6年度第4回公民館運営審議会
日 時 令和6年12月17日(火) 午前10時30分～12時05分
場 所 石橋公民館 会議室4
委 員 出席者 中川 賢一、菊地 高夫、青木 正徳、藤沼 清貴、
長 美智子、山中 幸子、市村 栄美子、北村 優子、
小林 溶子、小林 直子、鈴木 祐孝、田中 志保、
早瀬 純則
欠席者 板垣 博史、加瀬 裕美

教育委員会 教育長 石崎 雅也 (欠席)
生涯学習文化課長 野口 修一
石橋公民館長 山内 隆匡
国分寺公民館長 近藤 善昭
南河内公民館長 齋藤 光利
南河内東公民館長 大島 浩司

公開・非公開の別 (公 開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和6年 月 日

- 1 開 会 南河内東公民館長 大島 浩司
- 2 委員長あいさつ 中川 賢一
- 3 教育長あいさつ 野口 修一生涯学習文化課長 (代理)
- 4 議 事
(1) 公民館評価マニュアルについて
(2) その他
- 5 連絡事項

4 議事

(1) 公民館評価マニュアルについて

中川委員長 事務局 中川委員長 田中委員	<p>公民館評価マニュアルについて、事務局からの説明を求める。 下野市公民館評価マニュアルについて、説明する。 事前に確認いただいていると思うが、意見はないか。 8 ページ中段の表で、判定が分かれ数が奇数の場合、多数決で多い方の判定とするとあるが、委員の挙手による方法ではなく、数の多い評価を採用するのか。</p>
事務局	<p>委員のご質問のとおり、数の多い評価を機械的に判定する。</p>
事務局	<p>事前に質問のあった項目について、本日配布した回答内容を説明する。質問No. 4 からNo. 8 については、質問内容が関連しているので回答をまとめて記載したが、この公民館評価マニュアルは下野市公民館振興計画（第二次）に基づき作成しており、計画期間中の5年間は、このマニュアルにより評価を行うことから、修正は控える。No. 8 は記述の仕方の提案なので、今回の実績報告の際、検討したい。これらの意見は、次期下野市公民館振興計画（第三次）を策定する際の参考にさせていただきたい。</p>
中川委員長 事務局	<p>次期評価マニュアル策定の意見は、いつの時点で集約するのか。 下野市公民館振興計画（第三次）を策定する際に、評価マニュアルも併せて委員の意見を伺いたい。</p>

(2) その他

中川委員長 事務局	<p>その他について、事務局からの説明を求める。 令和8年度から令和12年度までの5か年計画である、公民館振興計画（第三次）を来年度策定するが、社会教育委員会議の意見聴取を行うため、計画を審議していただく公民館運営審議会の開催が前倒しとなる予定である。</p>
鈴木委員	<p>また、先日開催された社会教育委員会議において、公民館、図書館の今後の方向性というテーマでグループ協議が行われたので、公民館に対する意見を報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各館とも立地条件を活かした利用方法がなされている。 2. 石橋公民館は、児童館との複合施設で中高生の利用が増えており、世代間交流のきっかけとなっている。 3. 公民館講座を企画する講座を開催してはとの提案があった。 普段公民館を利用しない層の参加も見込めるのではないか。 <p>各講座終了後のアンケートで、どのような講座を希望するか項目があり、集計結果を知りたいが、公民館運営審議会に提示されていない。次の会議で報告してもらいたい。</p>
事務局	<p>どのアンケートにおいても、開講を希望する講座では、体を動かすヨガなどの運動に関するものや歴史に関するものが多い。社会教育委員会議や公民館運営審議会の委員の皆様が、希望する講座を提案していただくと、私たちも動きやすい。</p>
小林直子委員	<p>私も社会教育委員会議に出席していた。公民館講座は高齢者が対象のものや、決まり切ったものが多い。講座に参加していない人からも意見を聞いて、講座を企画すると良いのではないかとということであった。</p>

事務局	先ほどアンケートの話がでたが、8月から次年度の講座の企画が始まるので、アンケート結果を講座に反映させるのは、2年先の講座になってしまい、マッチングが難しい。
小林溶子委員	公民館は一部の人たちの興味のある講座を企画するのではなく、広く一般の人たちを対象に講座を企画している。
小林直子委員	まちづくり講座は全体的に参加者が少ないが、内容もすばらしいので、公運審の委員にも是非参加してほしい。
事務局	内容が良くても参加者が少なく、中止となってしまった講座などは、評価はDとなるのか。
中川委員長	現行の評価基準だとそうなる。 数字だけで判断せず、内容を勘案して委員に評価してもらいたい。
中川委員長	この議題についてはここまでとし、その他について皆様の意見を伺いたい。
菊地委員	何ができるか考えながら会議に参加していたが、各公民館を回らないと評価できないと感じた。難しい部分もあるが、できる範囲で評価したい。
早瀬委員	外国人の学習ニーズの把握は難しいが、地道に取り組んでほしい。リカレント教育は各人の就業形態によっても異なるが、参加しやすくできるよう検討する必要がある。
青木委員	中高生が公民館の学習スペースを利用することにより、将来大人になったときに公民館を利用しやすくなるようにすることが大切である。
中川委員長	スポーツ交流館のロビーにも、学習スペースを設置できると良い。
田中委員	石橋駅駐輪場に設置された学習スペースは、多くの学生が利用している。リカレント教育につながる講座としては、他の図書館の例であるが、AIに関する講座などを実施しているので、参考にしていきたい。
藤沼委員	コミュニティ推進協議会として、まつり、防犯講習会やこども食堂などの事業を実施しているが、これらを公民館の事業とタイアップできるように検討している。現職で就労している人たちが参加できるような施策を考えなければならない。評価は手段であって、目的ではない。
鈴木委員	文部科学省の白書で、公民館に関する調査結果を拝見したが、地域でそれぞれ特色をだしながら事業を実施していると思う。
長委員	若い人はスマートフォンで自分に合う講座やサークルを探し、都合のいい時間に行くので、公民館には来づらいのかもしれない。講座から自主サークルへの移行にあたっては、責任者の負担が大きい。
小林溶子委員	高齢者にとっては気軽に利用できる公民館は、励みになり、介護予防にもなる。高齢者対象の講座は必要である。
山中委員	すべての公民館に足を運べてなく、評価することに不安がある。どのような感じで公民館を利用しているか、皆さんに伺いたい。
小林直子委員	今年度、国分寺公民館で講座の講師を担当し、受講者から生の声を聞くことができ、得るものが多く、いい経験であった。
市村委員	評価をするにあたり、何のために評価をするのかよく考える必要がある。市民の声を大切にしながら、私たちは評価をしなければならない。

北村委員	公民館が提供している講座のクオリティの高さに感謝している。子どもたちも学習スペースを利用しているが、集中して学習に取り組んでいる。
------	-------------------------------------------------------------------

5 連絡事項

第5回公民館連絡協議会開催予定 令和7年2月～3月

6 閉 会